

# 平成29年度 活動基本方針

スローガン:「スカウトの輪をひろげよう！」

活動基本方針ならびに教育活動方針に基づきスカウティングを実行し、スカウトの進歩上進への意欲を高める。隊指導者はスカウトの向上心を刺激しスカウトらしさを醸成する。団は隊指導者を広角的に支援し、地区は団の支援を通じてスカウト育成に努める。その結果として「スカウトの輪」が拡大される。

## 重点目標:「スカウト個々をみつめる」

### 1. スカウト個々の進歩上進をみつめる

スカウトと隊指導者は、進歩上進について現状確認と将来計画についてこれまで以上に話し合いのチャンスを作る。この基本的な会話を通じてスカウトは進歩への意欲を育み、指導者はスカウトの達成意欲を高めるために創意工夫と自らのスキルアップの研鑽に努め、指導者としての責任を果たす。このようなスカウトと指導者の相互関係は、スカウトの確かな成長を促し、その結果が団内外にボーイスカウト活動への理解を深め、ひいては「スカウトの輪」を広げる結果につながる。

### 2. 国際交流を推進する

ボーイスカウト活動の目的の一つ「国際友愛精神の増進」を積極的に推進する。すべてのスカウトが規模の大小を問わず一つの国際交流を体験して貰いたい。既に国際交流を推進している団あるいは地区はその維持に、新たな交流事業を企画する団に対しては県連盟あるいは地区が実行に向けてバックアップを行う。国際交流の推進は、いずれスカウトの将来につながるものであり、結果として団内外にボーイスカウト活動への理解を深め「スカウトの輪」を広げる基礎となる。

### 3. スカウトの競争する心を育む

スカウトがスカウティングへのモチベーションを高める上で重要なのは競争心と考えている。ただこの競争は他を押しつけるというのではなく、共生の中で他をよく知ることから自分を高めるといった意味合いである。指導者は「組・班」間でスカウトの競争心を意識させる野外活動プログラムを準備し、実施し、よく指導することで、スカウトに技術的な向上心や改善に向けた行動の変化が生まれることを期待したい。一方でこの競争心は過去の自分との比較を意味し、自らの成長を意識させ自己啓発へつながるものでもあるとも考える。

### 4. 安全促進、セーフ・フロム・ハームの浸透、危機管理を推進する

冒険的で魅力的なスカウティングを展開する上で安全・安心が常に最上位になければならない。スカウトや指導者・団委員などのスカウト関係者は、安全促進やセーフ・フロム・ハームについて掘り下げた研究を行いよく理解しそして実践しなければならない。さらには危機管理(“兵庫 Method”)を推進し、安全・安心なスカウティングを保証する。こうした徹底は、未然の事故防止や早期の問題解決だけでなく、ボーイスカウト活動に対する保護者の信頼や地域の理解を深めることにつながる。

### 5. 後継者育成プログラムを推進する

団や地区は、次期後継者の育成に努める。団や隊の指導者のサイクルは昨年に引き続き目安として6年を提案したい。長期的滞任は、組織の停滞をもたらす。然るべき指導者や団・地区役員の育成プログラムをスタートさせ、組織の新陳代謝をすべきときにある。与えられた任期内で組織にご自身の考えを傾注し、そして次世代に名誉ある襷をお渡ししたい。